

第2回 災害対策委員会

平成25年4月23日(火) 15:00～
 学士会館2階 202会議室



第2回委員会には32名の委員が出席、災害対策について検討を行いました。
 今回は堂本前千葉県知事をお招きし、多様な視点から災害対策についてお話を伺いました。
 会の後半では検討課題ならびに今後の進め方について委員の皆様による討議が行われました。

議題1.「東日本大震災が教えてくれたもの」

講演者：前千葉県知事 堂本 暁子 様

【講演内容】

県知事、国会議員としての経験を踏まえ、生活者、行政、政治の3つの立場から、被災地の実態や男女共同参画と災害・復興への取り組みについてお話を伺いました。



- 2011年4月、堂本氏は東日本大震災の被災地を訪れ現状を目の当たりにし、被災者、とくに女性や高齢者、障がい者への配慮・支援が極端に不足している実態が浮き彫りとなった。
- そこで「男女共同参画と災害・復興ネットワーク」を立ち上げ、全国47都道府県の女性団体・個人が参画、多様な視点からの災害政策や制度の改善を要望し続け、東日本大震災復興基本法・東日本大震災からの復興の基本方針へ男女共同参画の政策を盛り込み、防災基本計画・災害対策基本法の改正が実現した。
- 女性が主体性を発揮しての意思決定の場への参画、平常時のタテ割りではない包括的な災害対策政策、経済復興だけでなく生活復興がスムーズに進むような体制の構築が重要である。

議題2. 検討課題ならびに進め方について

委員の皆様へのヒアリングをもとに作成した事務局案を提出、議論が行われました。
 議論を踏まえ、今後の活動の大枠について下記の通り進めていくことといたしました。

- **生活者・事業者の自助推進** 本年度より重点的に取り組み開始
 - ・生活者の意識向上と家庭における備えの推進
 - ・事業者の事業継続力強化
- **各主体間での連携・支援体制構築・改善** 平成26年度をめどに重点的に取り組み開始
- **生活者視点からの提言活動** 継続的に取り組みを進める
 - ・女性視点・社会的弱者視点の欠如の改善・解消
- **広報の強化** 継続的に取り組みを進める

都度できることがあれば、枠組みにとらわれず実践していく

自由討論では、企業での従業員備蓄や意識向上への取り組み、女性視点の不足への気づき、関係機関や他団体への積極的な働きかけなどについて、活発な意見交換・議論が行われました。



引き続き当委員会は生活者視点で大震災への備えを進めるべく、活動を進めてまいります。

第3回 災害対策委員会(次号掲載予定)

■日時：7月26日(金) ■場所：東海大学校友会館

内閣府 男女共同参画推進官の澤井景子様をお招きし、男女共同参画の視点からの災害対策についてお話を伺いました。詳細は次号会報誌にてご報告いたします。